

統合分野 看護の統合と実践 授業計画

授業科目及び時間数	看護管理 1単位 30時間		
開講時期	2年次 後期		
担当教員	佐野ちづる・国京則幸・上田理恵子・杉村きよ美	実務経験	有
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p><科目のねらい></p> <p>1. 対象者に質の高いサービスを提供する為の、看護管理の基礎知識を学ぶ。</p> <p>2 組織におけるチーム医療及び他職種との協働について学び、看護組織の業務を行う一員としての役割や責任について理解する。</p> <p>3. 看護業務上の危険・事故原因について理解し、医療安全管理（感染対策含む）について考える。</p> <p><到達目標></p> <p>1. 組織について学び、病院等の組織における看護部門の位置づけ、役割、責務についてわかる。</p> <p>2. 医療・看護の質向上における看護管理の重要性を理解する。</p> <p>3. 看護管理者として必要なマネジメント能力について知る。</p> <p>4. 看護管理の対象（人・物・金・情報）とその活用について理解する。</p> <p>5. 看護サービスの質を向上させる活動・体制についてわかる。</p> <p>6. 労働者の果たすべき責任、労働者を守る体制についてわかる。</p> <p>7. 社会人基礎力について学ぶ。また、看護専門職としてキャリアを重ね成長し続けるために必要なことを考える。</p> <p>8. 個人情報扱う専門職であるという自覚を持ち、その保護の方策について考える。</p> <p>9. 組織分析手法の経験を通して、組織の活性化には戦略が必要であることがわかる。</p> <p>10. 医療システムの中で危険因子を知り、看護技術提供時における事故防止のための知識・技術がわかる。</p>			
授業計画・内容・担当教員			
1回目	<p>1. 看護部門の組織</p> <p>1) 組織 (1) 組織と組織理念 (2) 組織の基本となる原則</p> <p>2) 病院組織における看護部門の位置づけ・役割・責務</p> <p>(1) 医療機関の組織構造 (2) 看護部門の位置づけと役割・責務</p> <p>2. 管理とは</p> <p>1) マネジメントプロセス (計画・組織化・指揮・統制)</p> <p>2) マネジメントサイクル (計画・実行・評価・処置改善)</p>	講義 (佐野)	
2回目	<p>3) マネジメントの役割・マネージャーとは・マネージャーの仕事</p> <p>4) マネジメントの能力</p> <p>(1) セルフマネジメント (2) リーダーシップ (3) コーチング</p> <p>(4) ナレッジマネジメント (5) 動機づけ</p> <p>(6) コンフリクトマネジメント (7) ストレスマネジメント</p> <p>(8) アサーティブコミュニケーション</p> <p>(9) 協働・交渉・コンサルテーション</p> <p>(10) パワーとエンパワメント (11) 変化と変革</p>	講義 (佐野)	
3回目	<p>3. 看護サービス管理とは</p> <p>1) 定義</p> <p>2) 看護管理の対象 (1) 人 (2) 物 (3) 金 (4) 情報 (時間)</p> <p>3) 財務管理 (財務諸表・経営管理指標)</p> <p>4. 看護サービスの質の保証とその評価</p> <p>1) 看護サービスの質の保証</p> <p>(1) 看護単位の構成・体制 (2) 看護の標準化とクリニカルパス</p> <p>2) 看護サービスの質の評価の指標・評価</p> <p>3) 看護サービスの質の向上の取り組み</p>	講義 (佐野)	
4回目	<p>5. 人事・労務管理</p> <p>1) 人事管理 (1) 人材フローのマネジメント</p> <p>(2) 評価システム…目標管理・人事考課、報酬システム</p> <p>(3) 能力開発システム (4) 労務管理</p> <p>2) 労働安全衛生管理 (1) メンタルヘルス (2) 健康診断</p> <p>(3) 施設内暴力 (4) ハラスメント (5) 労働災害</p>	講義 (佐野)	
5回目	<p>6. 人材育成 1) 社会人になるとは… 社会人基礎力</p> <p>2) 専門職 (1) 定義及び看護の専門職 (2) 看護職の自律性と責務</p>	講義 (佐野)	

	<p>3) 看護の教育体系 (1) 新人看護職員研修制度 (2) 継続教育 4) キャリア開発 (1) キャリアとは (2) 看護職のキャリア形成 7. 情報管理 1) 情報とは 2) 医療情報システム 3) 個人情報管理</p>	
6 回目	<p>8. 看護と経営 1) 戦略的経営の枠組み (1) 医療経営とは (2) 組織分析 (3) 分析手法 (SWOT 分析) (4) BSC 2) 病院の経営 3) 看護職の経営参画 (1) 診療報酬・介護報酬 (2) 看護業務を加算要件に取り込む 4) 財務管理 (1) 財務諸表 (2) 経営管理指標</p>	講義 (佐野)
7 回目	<p>医療事故に伴う看護職の法的責任 その1 (1) 法的責任とは—その捉え方行政法上の責任/民事責任/刑事責任 (2) 看護師の資格と看護業務の法的構造 免許とは/業務の法的位置づけ・免許の取得・免許の取り消し・再免許 (3) 医療安全の考え方 具体的事例 (民事責任/刑事責任) の紹介と解説から</p>	講義 (国京)
8 回目	<p>医療事故に伴う看護職の法的責任 その2 (1) 民事責任 — 損害賠償請求を例に 過失責任主義 (2) 民事責任 債務不履行責任/不法行為責任/使用者責任 (3) 損害賠償の成立 (4) 紛争処理方法 — 紛争にならないために</p>	講義 (国京)
9 回目	<p>1. 医療安全の基本的考え方 1) 医療安全を学ぶことの大切さ 2) ヒューマンエラー 2. 安全を阻害する因子・看護事故 1) 事故防止の考え方を学ぶ 2) 医療事故の構造 3) 看護事故防止の考え方</p>	講義 (上田)
10 回目	<p>3. 看護事故防止及び組織における医療安全管理 1) 診療の補助の事故防止 —患者に投与する業務における事故防止— 2) 診療の補助の事故防止 —医療行為の観察・管理における事故防止 3) 療養上の世話の事故防止</p>	講義・演習 (上田)
11 回目	<p>3. 看護事故防止及び組織における医療安全管理 その2 4) 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 5) 医療安全とコミュニケーション 6) 看護師の労働安全衛生上の事故防止 7) 組織的な安全管理体制への取り組み</p>	講義 (上田)
12 回目	<p>4. 看護師が関与したヒヤリ・ハットや医療事故 5. 事故発生時の対応及び分析方法 1) 課題について検討する 2) ロールプレイ等の実習 6. 医療安全対策の国内外の潮流</p>	講義 (上田)
13 回目	<p>7. 感染管理 1) 医療関連感染とは 2) 医療感染対策における看護師の責務と役割</p>	講義 (杉村) 感染管理認定看護師
14 回目	<p>3) 標準予防策と感染経路別予防策 4) 手指衛生の方法、個人防護用具の使い方</p>	講義 (杉村)
15 回目	終了試験	
評価方法	<p>看護管理 (佐野) : 50%うち終了試験 (筆記) 45% 課題レポート提出 5% 医療安全 (上田) : 30%うち終了試験 (筆記) 25% レポート 5% (国京) : 10% 終了試験 (筆記) (杉村) : 10% 終了試験 (筆記)</p>	
受講生に対するメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・看護管理は組織で働く全ての看護要因が取り組むことであると理解してほしい。 ・医療施設や福祉施設の経営には、看護部門が大きく関わっていることを理解してほしい。 ・一人一人の看護職が医療・看護の質向上に向けて努力することが、医療・看護の全体の質の向上に繋がる。その実行は組織発展に繋がる。 ・組織の中で働くためには、社会人基礎力を身につけるよう日々努力してほしい。(佐野) 	
テキスト	<p>系統 看護管理 看護の統合と実践① 医学書院 系統 医療安全 看護の統合と実践② 医学書院</p>	
参考書		

